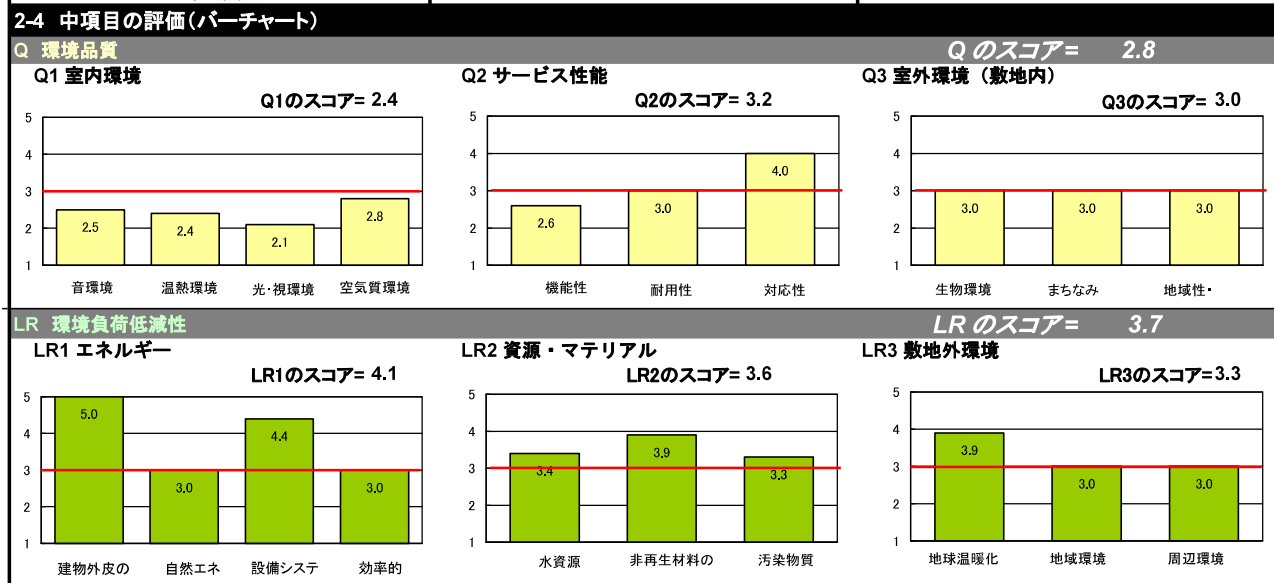
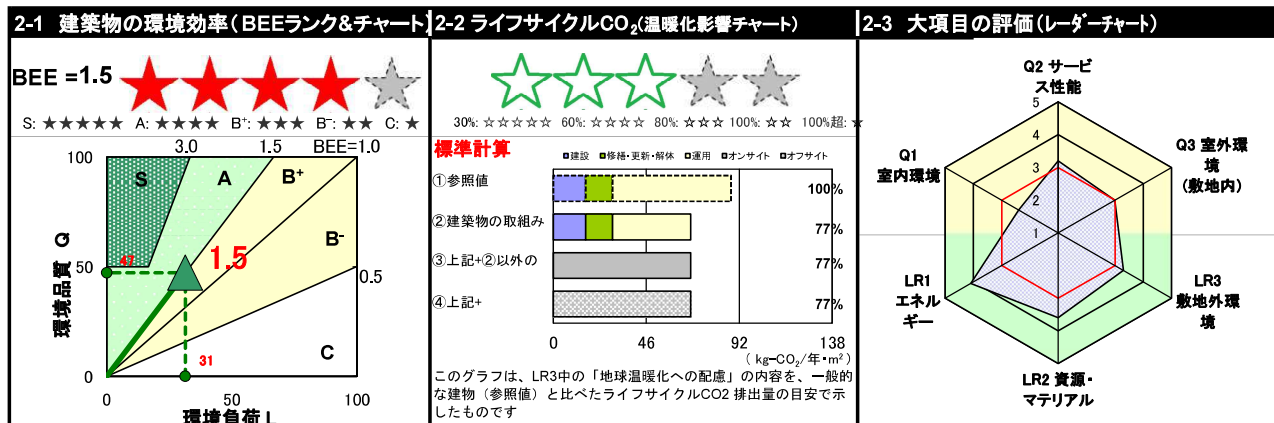


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)鈴茂器工鶴ヶ島新工場プロジェクト	階数	地上2F
建設地	埼玉県鶴ヶ島市	構造	S造
用途地域	工業専用地域、準防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,450 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年10月 予定	評価の実施日	2024年9月27日
敷地面積	36,138 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)
建築面積	4,296 m ²	確認日	2024年9月27日
延床面積	8,190 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)



3 設計上の配慮事項		
総合 埼玉県鶴ヶ島市の圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側地区産業用地における工場の計画である。 運用上の機能性確保は勿論の事、空調設備・照明設備等に配慮し、環境配慮型の建物として計画した。		その他 Q2:防汚性に配慮した内装材を使用するなど維持管理に配慮している。補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。
Q1 室内環境 断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能 天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には緩衝緑地だけでなくエントランス付近にも緑化、植樹を行い、外観デザインとしての設えも考慮しつつ緑化に努めている。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を77%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。 駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設、車両待機スペースを確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)鈴茂器工機ヶ島新工場プロジェクト

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.34		-	2.4
1 音環境		2.5	0.15	-	-	2.5
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		1.8	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.4	0.35	-	-	2.4
2.1 室温制御		3.2	0.50	-	-	
1 室温	窓SC:0.295窓U:3.09、外壁U:0.8、屋根U:0.38	3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		4.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		2.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		2.1	0.25	-	-	2.1
3.1 屋光利用		1.8	0.30	-	-	
1 屋光率		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-	
1 屋光制御		1.0	1.00	-	-	
3.3 照度	500lx ≤ [照度] < 1000lx	4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		2.8	0.25	-	-	2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気		2.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙としている	3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		2.6	0.40	-	-	2.6
1.1 機能性・使いやすさ		1.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の天井2.9m以上、窓の設置	5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機の設置	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	防汚性に配慮した建材を採用、外部金属にメッキ処理等	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	(事)床:タイルカーペット20年、壁:ビニルクロス20年、天井:石膏ボード30年(工)床:塗床20年、壁:EP塗装15年、天井:石膏ボード30年 按分にてレベル4	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	平均階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	配管配線により、仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕が可能	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.36	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
	1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.67	5.0	0.20	-	-	5.0
	2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
	3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.66	4.4	0.50	-	-	4.4
	4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水コマ、自動水栓などに加えて、節水型便器を主要水栓の過半に採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
		1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.9	0.60	-	-	3.9
	2.1	材料使用量の削減	異径柱接合工法、鉄骨梁横補剛工法、スーパーEデッキ採用	4.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ポリスチレンフォーム:床下断熱材、ソーラトン:天井仕上、床仕上材:エスリュームプラス	5.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別可能、OAフロアを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
		1 消火剤		-	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
		3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
		1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制	駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、荷捌き車両の駐車施設を確保等	5.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
		1 騒音		3.0	0.50	-	-	
		2 振動		-	-	-	-	

		3	悪臭	3.0	0.50	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
		1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
		3	日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	
		2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

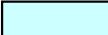
建物名称	(仮称)鈴茂器工鶴ヶ島新工場プロ	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア					
3.9	+	3.0	=	6.9	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減			スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>				
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9	
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率を77%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。				
(2) 緑の保全・創出			スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>				
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0	
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0	
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0	
<配慮した内容を記述> エントランス付近にも緑化、植樹を行い、外観デザインとしての設えも考慮しつつ緑化に努めている。				

 : 入力欄